【高等学校用】

令和５年度学校評価 計画

達成度（評価）
Ａ：十分達成できている
Ｂ：おおむね達成できている
Ｃ：やや不十分である
Ｄ：不十分である

学校名	佐賀県立白石高等学校

1　前年度 評価結果の概要	**・授業及び進路指導等に対する生徒の満足度はおおむね良好であった。 ・働き方改革について、全体的には業務の効率化が図られたが、一部の職員で時間外勤務の上限を超えていた。 ・SAGAコラボレーションスクールの重点校として、地域協働の更なる展開を図る。**
2　学校教育目標	**校訓「清明・自立・創造」のもと、高い志と主体的に未来を切り開いていく強い意志を持ち、地域に貢献できる、人間性を豊かにして知・徳・体の調和のとれた、心身ともに健全な人材を育成する。**
3　本年度の重点目標	**・SAGAコラボレーション・スクールを起点とした学校魅力化づくりの推進 ・新学習指導要領の趣旨を踏まえた、授業改善の推進 ・個別最適な学びの推進（伸ばす教育の推進）**

4　重点取組内容・成果指標　　**中間評価**　　**5　最終評価**

（1）共通評価項目

重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	取組内容	成果指標 （数値目標）		進捗度 （評価）	進捗状況と見通し	達成度 （評価）	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○生徒の進路希望に応じたきめ細やかな進路指導により、生徒自身が自らのキャリア形成についての理解を深め、進路実現を達成させる。	○キャリア教育アンケートにおいて、「進路について考えることができた」、「ある程度できた」と回答した生徒の割合97%以上	・各種進路行事を通して，自らの進路に関して考える機会を提供し，生徒自身のキャリア形成に対する理解を深める。 ・活動記録や学期ごとのキャリアパスポート記入を通して，自分の取り組みを振り返る機会を準備し，さらなる活動の進展へつなげる。 ・探究への取り組みを通して，地域との関わりや職業について体験をさせることで主体的に活動し学ぶ態度を育成する。		・		・		・	進路指導部 各学年
	○主体的に考え行動する力を育成するため、また、学力向上のための授業改善に取り組む	○授業について、「満足している」と回答した生徒の割合90%以上	・ICT機器の効果的な活用方法等、新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりについて、各教科で研修を行う。		・		・		・	教育企画部 各教科
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○生徒指導措置数：0件 ○交通ルールの順守や交通マナーの向上への自己評価90%以上 ○人権感覚を身に付けるための啓発活動や研修等へ参加し、人権感覚を身に付けたと回答した職員・生徒を90%以上にする。	○クラス担任や教科担当、部活動顧問等から幅広く生徒情報の収集に取り組み、情報共有を図る。 ○人権・同和教育講演会及びホームルーム活動をそれぞれ1回以上実施する。 ○授業や集会等で情報モラルに関する指導を1回以上実施する。		・		・		・	教務部
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○「学校はいじめの予防、発見、対応をと思う」と回答した生徒80%	・いじめアンケートを年3回実施し、実態調査を行う。 ・QUテストを年2回実施し、実態把握を行う。 ・いじめ対策及びQUテスト分析に関する職員研修を年に1回以上実施する。 ・週に1回、学年・生徒指導・教育相談担当等が情報共有を行い、連携を図る。		・		・		・	生徒支援部 （生徒指導・教育相談）
	◎郷土愛を醸成するための教育活動	○佐賀県や地域について学ぶ活動や講演会を実施し、佐賀県や地域に誇りや愛着を持っている生徒を90%以上にする。	・「さがを誇りに思う教育講演会」や探究活動を通して地域の方々や企業等の代表者から話を聞き、佐賀県や地域の魅力を深める。		・		・		・	教務部（佐賀誇り担当）
●健康・体つくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康でいるために食事は大切である」と考える生徒を95%以上にする ●「朝食を必ず摂って登校する」生徒を85%以上にする	・年に2回（5月と11月）に食生活アンケートによる意識調査を行う。 ・月に1回（毎月1日）、食育だよりと保健だよりを発行し、望ましい食習慣と健康との関わり、栄養や食品、旬の食材や行事食について等の情報発信を行う。		・		・		・	生徒支援部（保健指導）
	○安全に関する資質・能力の育成	○防災について、高い意識を持っていると回答した生徒90%以上	・風水害時の保護者の迎えの手順を文書で作成し周知する。 ・防災避難訓練を消防署立ち合いのもと実施する。							生徒支援部（生徒指導）・ 教育企画（防災担当）
	○心身ともに健康で、文武両道の充実した生活環境をつくる	○本校の「部活動の活動方針」に基づき活動ができたと回答した教員85%以上 ○心身の健康維持・促進に積極的に取り組んでいると回答した生徒を85%以上	・生徒が部活動へ積極的に取り組めるような環境を整える ・放課後の時間の有効活用について、HR等で理解を図る。 ・各学年の部活内における立場を自覚させ、学校の活性化につなげる。		・		・		・	生徒支援部（生徒会）
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・事務ポータルシステムの活用と会議の削減を行う。 ・出退勤システムの活用で、個人が時間外在校時間を管理する。 ・定時退勤推進日を設定し、効率的な業務遂行を推進する。		・		・		・	管理職
	○職場の相談体制を整え、働きやすい職場環境を構築する	○働きやすい職場環境であると回答した教員の割合80%以上を目指す。	・ゼロの日の服務規律指導時に、ハラスメント防止を徹底する。 ・校内のハラスメント相談体制を整え、相談に迅速に対応する。また、第三者相談機関を職員に周知する。 ・職員研修を年間2回以上実施する。		・		・		・	管理職

（2）本年度重点的に取り組む独自評価項目

重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 （数値目標）		進捗度 （評価）	進捗状況と見通し	達成度 （評価）	実施結果	評価	意見や提言	
★唯一無二の誇り高き学校づくり	★実践的・体系的な活動の充実と県内外への情報発信 ○学校の魅力化の研究と実践 ○小中高連携の企画	★自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合80%以上、教職員の割合80%以上 ★県外からの入学者数2人以上 ○地域連携事業に関わったと思う生徒と職員の増加 ○学校が積極的に地域と連携していると思う保護者の増加	・学校魅力化委員会及び学校運営協議会を年3回以上開催する。 ・2年目を迎えたSAGAコラボレーションスクールの取り組みをさらに拡大し、3年間を見通した計画を作成する。 ・総探やフィールドワーク等地域連携事業の質を向上させる。 ・学校の情報発信を促進させる。 ・小中高連携事業を企画する。		・		・		・	SAGAコラボレーション担当
○校舎制による円滑な学校運営の推進	○キャンパス間の連携・協力体制をより充実させる	○業務の効率化と質の向上を図る。 ○オンラインを活用しながら合同で行う会議・研修・行事を昨年度より増やす。	・校務分掌の整理と業務の分担等行う。 ・合同の学年会や分掌会議をオンラインで行う。 ・特別活動で合同開催が可能なものはすべて合同で行う。		・		・		・	管理職 主幹

●・・・県共通　○・・・学校独自　◎・・・志を高める教育　★・・・唯一無二の誇り高き学校づくり

5　総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・